

苫小牧市 Tomakomai-shi 津波ハザードマップ

津波ハザードマップについて

北海道では、大きな地震に伴い発生する津波により、津波被害が発生しています。中でも、平成5年の北海道南西沖地震では、大津波が奥尻島に押し寄せて大被害を与え、死者・行方不明者は229人に達しました。

近い将来に発生することが指摘されている日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震が発生した場合、甚大な津波被害発生危険性が指摘されており、津波防災対策の一層の充実が求められています。

津波防災対策の一環として、北海道は、太平洋沿岸について最大クラスの津波を想定し、津波により浸水する可能性のある区域と浸水深、津波が到達するまでの時間を示す津波浸水予測図を作成しました。

津波による人的被害を最小限に抑えるためには、的確・迅速な避難が最も重要です。このため、苫小牧市では、津波浸水予測図をもとに、避難所などの情報を載せた「津波ハザードマップ」を作成しました。

皆さんは「津波ハザードマップ」を見て、津波による浸水区域や避難所、津波に対する注意点などについて日ごろから確認し、津波が発生したときにとるべき行動を普段からご家族や地域で話し合っておきましょう。

なお、「津波ハザードマップ」に示す浸水区域と浸水深、津波到達時間は、震源の位置や地震の規模などにより、変化することがありますので、ご注意ください。

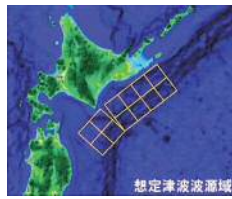
平成25年3月 苫小牧市 危機管理室
電話：0144-32-6111(代表)
E-mail:kikikanri@city.tomakomai.hokkaido.jp

地震の発生!!!
大津波警報・津波警報・津波注意報の発表!!!
すぐに高いところへ避難!!!
海や川の様子を見に行かない!!!

苫小牧市のホームページ	http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/
北海道防災情報	http://www.bousai-hokkaido.jp/
国土交通省防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jma/index.html

津波シミュレーションの想定津波波源域および結果

- 想定津波波源域：下図参照
- 津波シミュレーション結果：下表参照



代表地点※	影響開始時間(分)	第1波到達時間(分)	第1波最大水位(m)
錦岡	21	49	7.3
元町	22	51	6.4
苫小牧港(西港)	25	51	5.8
安平川河口	26	57	7.7

影響開始時間：地震発生から±20cmの水位変化が生じるまでの時間
第1波到達時間：地震の発生から津波第1波のピークが到達するまでの時間
第1波最大水位：津波第1波の最大水位
●第1波最大水位が津波全体の最大水位とは限りません。
※代表地点は、沿岸の水深10mの地点で、地図上に●で示しています。



津波避難関連情報

緊急地震速報

- 緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限りすばやく地震の発生を知らせる情報で、最大震度が5弱以上と予測される場合に発表されます。
- 緊急地震速報は、地震が発生する数秒から数十秒前にテレビ、ラジオ、エリアメールなどを通じて、皆さんに伝えられますので、強い揺れの前に、自分の身の安全を図りましょう。
- 緊急地震速報は、震源に近いところでは、強い揺れに間に合わないことや、短時間のデータだけを使った速報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界があります。

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波の発生が予想される場合、気象庁が大津波警報、津波警報、津波注意報を発表します。

分類	発表する津波の高さ		とるべき行動
	数値表現	定性的表現	
大津波警報	10m超	巨大	● 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ● 津波はくり返し襲ってきます。警報が解除されるまで、安全な場所から離れないでください。
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	● 海の中にいる人はただちに海からあがって、海岸から離れてください。 ● 注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。
津波注意報	1m	(なし)	

※地震発生初期において、地震の規模や震源の位置が把握できない場合には、津波の高さを正確に予測することが困難であるため、津波の高さを定性的表現で発表します。

避難勧告・避難指示

- 津波警報が発表され、津波による家屋の破壊、浸水等のおそれがあり、皆さんの生命に危険が認められるときに、市は避難勧告や避難指示を発令します。
- 避難勧告や避難指示が出されたら、速やかに最寄りの避難所、津波避難ビルや高台に避難してください。

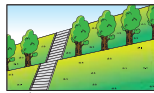
津波対策7か条

津波から身を守る最大のポイントは、**早く逃げる**ことです。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、**直ちに避難**しましょう。



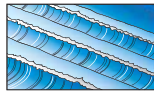
1 小さな揺れでも油断禁物!

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても、長時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。



2 津波警報・津波注意報に注意!

地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海岸から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。また、津波注意報でも海の中や海岸付近は危険ですので、直ちに海岸から離れましょう。



3 津波はくり返し襲ってくる!

津波はくり返し襲ってくることもあり、必ずしも津波の第1波が最大とは限りません。警報や注意報が解除されるまでは、気をゆるめないうでください。



4 正しい情報を聞く!

正しい情報をテレビ、防災ラジオ、ホームページ、防災行政無線、広報車などを通じて入手しましょう。



5 徒歩での避難!

車での避難は、渋滞や事故のおそれがあり、車ごと津波にのみ込まれる危険性があります。避難は、徒歩が原則です。



6 高い場所へ避難する!

海岸から「より遠く」よりも「より高い」場所へ避難しましょう。避難所や津波避難ビルなど安全な場所に逃げ遅れた場合には、近くにある頑丈で高い建物や高台などに避難することを考えましょう。



7 家族会議を開こう

家族を捜しに行って、津波にのみ込まれた事例があります。普段から安全に避難できる場所を家族で話し合っておき、その場所に家族が集まりましょう。

浸水深と建物被害の関係

浸水深と建物被害の関係は、下図のようであるとされています。

浸水深(m)	1	2	4	8
木造家屋	部分的破壊		全面破壊	
石造家屋		持ちこたえる		全面破壊
鉄筋コンクリートビル		持ちこたえる		部分的破壊

津波浸水予測区域の見方(浸水深)

0.0 - 0.5m	5.0 - 6.0m
0.5 - 1.0m	6.0 - 7.0m
1.0 - 2.0m	7.0 - 8.0m
2.0 - 3.0m	8.0 - 9.0m
3.0 - 4.0m	9.0 - 10.0m
4.0 - 5.0m	10.0m-

地図の見方

- 避難所
- 津波避難ビル
- 福祉避難所
- 市役所
- 警察
- 消防
- 主要幹線道路
- 鉄道
- 市界